

(3) 世界につながる力の育成

現状と課題

- グローバル化が一層進展し、異なる文化を持つ人々とも協力して課題を解決していくためには、外国語によるコミュニケーション能力はもちろん、長野県や日本の歴史文化への理解を深め、日本人としての誇りを持ち、国際人として活躍できる人材の育成が求められています。
- 本県の児童生徒は、英語の語いや文法などの知識の正確さと比べて、英語を多く使って会話をするなどのコミュニケーション能力が不足しています。
- 学習指導要領の改訂により導入された小学校の外国語活動は、すべての小学校で実施されていますが、その取組内容が様々であり、中学校の外国語の授業とのつながりが必ずしも明確ではありません。
- 「全国学力・学習状況調査」等を分析した結果、県内の児童生徒の理数科目の学力が文系科目と比較して低く、上位層が薄い状況です。
- 児童生徒の科学的思考力の伸長を図る各種科学オリンピックの県内参加者数が他県に比べて少なくなっています。
- 地域や世界に貢献する人材を育成するという、成果の視点で高校づくりを考えることがより重要になってきています。

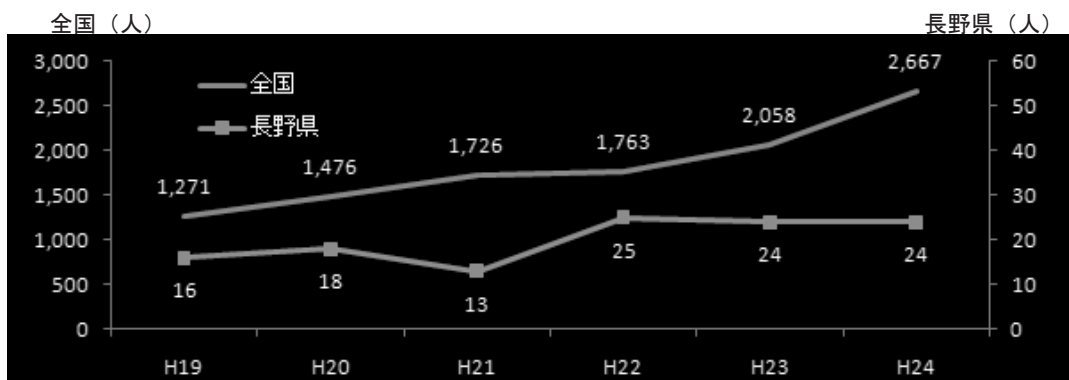


科学の甲子園長野県予選で
実験問題に挑む生徒達



外国語活動の時間を楽しむ児童

図2-(3)-① 数学オリンピック (科学オリンピック数学分野) 参加者数



教学指導課調べ

成果目標

- 外国語によるコミュニケーション能力の向上と卓越した学力の伸長により、日本や世界に貢献できる人材を育成します。

測定指標

| 測定指標項目 | 現状値 | 平成29年度の目標 | 備考 |
|--|----------------------------------|----------------------|--|
| 英語コミュニケーション能力水準 ・英語検定3級レベル(中学生) ・英語検定準2級レベル(高校生) | 中3 19.8% 高3 30.0% (平成23年度) | 中3 40.0% 高3 40.0% | 教学指導課調べ 中学卒業時に英語検定3級レベルに達する生徒と高校卒業時に英語検定準2級レベルに達する生徒の割合 |
| 「科学の甲子園」長野県予選参加生徒数 | 54人 (平成23年度) | 100人 | 教学指導課調べ |

主な施策の展開

世界につながる力の育成のために、次のような取組を進めます。

① 外国語によるコミュニケーション能力の充実・向上

- 小学校及び中学校の外国語学習におけるつながりを意識した指導改善のため、指導主事の学校訪問による支援や、小学校外国語活動DVDの活用、中学校区における研修会の促進等を図ります。【教学指導課】
- 外国語指導助手を交えた実践的な英語授業により児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上を図ります。【教学指導課】
- 国際理解の推進や児童生徒のコミュニケーション能力の育成のため、生徒の海外留学、海外からの教育旅行受け入れ、交流活動等を促進します。【教学指導課、移住・交流課】
- 大学等と連携し外国語教育の中核となる教員の養成を行い、専門性の向上を図ります。【教学指導課】

② 理数教育・科学教育の充実

- 「信州サイエンスキャンプ」*を中心とした海外の高校生との交流や各種科学コンテストへの参加を促進することで、科学に関する興味・関心を高めます。【教学指導課】
- 理数系教科に係る教員の実験技術の向上等授業改善を推進し、児童生徒の科学や自然に対する興味・関心を高めるとともに理数学力の一層の伸長を支援します。【教学指導課】

③ 探究的な学科等の設置

- 卓越性を伸ばし、日本や世界に貢献できる人材を育成するため、探究的な学習をする学科の設置を推進します。【高校教育課】

④ ふるさと教育の推進【再掲】

- 長野県の豊かな自然や地域の文化にかかわる体験的な学びを充実させるために、地域教材を扱った事例のデータ等の整備、提供に取り組みます。【教学指導課】
- 県内の歴史や文化、地域課題等を学ぶ拠点づくりと情報提供を推進します。【文化財・生涯学習課】